

「令和８年度『ポップアップストア・ポップアップレストラン』推進業務委託」
提案書評価基準

１ 評価基準

- （１）出席した審査委員（以下、「審査委員」という。）は、下表の評価項目についてはＡ～Ｅ（１点～５点）の５段階で評価する。
- （２）評価の考え方は、別紙「評価の視点」のとおりとする。なお、提案書に評価項目に該当する記載が無い場合は１点とする。
- （３）最高得点を得た者から順位を付けるものとする。ただし、同位の提案が複数ある場合は審査委員の多数決により順位を決定する。
- （４）項目ごとの評価で過半数の「１」があった場合は、受託候補者としての特定は行わないものとする。
（「特記すべき提案」項目は除く）

２ 評価項目

評価項目及び着目点		配点	加重倍率	評価点
１ 業務遂行能力		小計		15
(1)類似事業の実績	首都圏等における食に関わるイベントや物販イベント、地域プロモーション、飲食店連携事業等の企画・運営・開催実績	5	1	5
(2)業務実施体制	十分な人員配置、役割分担、関係者との調整体制が構築されているか。	5	1	5
(3)業務実施スケジュール	会場確保、店舗調整、各種媒体によるPR、実施、効果検証まで無理のない計画となっているか。	5	1	5
２ 提案内容		小計		105
(1)業務目的の理解度	県産食材や県産酒等の認知度向上、ブランド価値向上、観光誘客という目的を理解した提案となっているか。 【仕様書 ２業務の目的】	5	3	15
(2)手法の妥当性	①事業コンセプトの妥当性【仕様書 ４業務委託（１）ウ】 山梨県産食材の背景にある風土・文化・歴史等の魅力を首都圏の消費者に五感で体感させることにより、県産食材への理解と共感を醸成し、継続的な消費拡大、ブランド価値の向上及び本県への観光誘客につなげるという事業コンセプトを十分に理解し、効果的に具現化した提案となっているか。	5	2	10
	②ポップアップストアの販売ブース【仕様書 ４業務委託（２）イ（カ）】 来場者に生産者と料理人の想いが伝わる生産者のPRや食材を使用したレシピ紹介、県内レストランの紹介等を交え、県産食材等の認知度向上及び消費拡大、ブランド価値向上を図ることのできる内容となっているか。 【４ 業務委託（２）イ】	5	1	5
	③ポップアップストアの体験ブース【仕様書 ４業務委託（２）イ（カ）】 県産食材の試食・試飲や来場者が食にまつわる文化や自然、テロワール等に触れたり、見たり、聞いたり、学んだりできる工夫された内容となっているか。	5	2	10
	④ポップアップストアの予約ブース【仕様書 ４業務委託（２）イ（カ）】 来場者が、ワイナリー見学やレストラン・宿泊施設等の予約ができるブース等の設置を想定した内容となっているか。	5	1	5
	⑤来県誘客【仕様書 ４業務委託（２）イ（カ）】 本県への誘客を促進し、来場者が本県に訪れたいくなるような効果的な工夫された導線が用意されているか。	5	2	10
	⑥ポップアップレストランの企画【仕様書 ４業務委託（２）ウ】 仕様書の実施内容が、提案書に反映されており、県産食材や県産酒の魅力を効果的に体感できる内容となっているか。 美食コンソーシアムと連携する手法を提案できているか。	5	2	10
	⑦会場・飲食店等選定【仕様書 ４業務委託（２）イ（オ）、ウ（エ）】 ターゲット層への訴求力が高い会場か。 訴求力の高いレストラン等（県産食材調達能力やメニュー、商品の提案能力、食品衛生、安全管理等）が提案されているか。	5	1	5
	⑧プロモーション【仕様書 ４業務委託（２）エ】 ターゲット層を理解し、ターゲット層に適したSNSやメディア、インフルエンサーでの効果的なプロモーションが企画されているか。また、やまなしビジョナリーズユニットや料理専門誌等による情報発信を検討できているか。産業振興課や地域ブランドグループとの連携が図られているか。	5	1	5
	⑨事業の運営・管理 事業全体の運営・管理についての提案は妥当か。	5	2	10
	⑩KPIの達成・効果検証 KPIの達成が期待でき、効果検証手法が具体的か。	5	2	10
(3)価格点	見積額（消費税及び地方消費税を含む）は安価であるか。 算出方法：10点×応募者中の最低価格／提案者の価格 ※小数点以下第１位で四捨五入	5	2	10
合計				120